

南アルプス市 平成 25 年度

事務事業マネジメントシート (兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 26 年 3 月 24 日作成

事務事業名	南アルプス自然体験推進事業			所属部局 教育委員会 所属課室 南アルプス教育推進課 所属担当 教育指導担当	単位番号	12115		
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業				課長名	小田切 雅裕		
					担当者名	横澤 敏英		
基本政策	基 本 方 針	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目 会計 01 一般	目	細目	細々目	
					01	02	020	26
政 策	計 画	23	学校教育の充実	事業区分 ■ 国の制度による義務的事業 ■ 県の制度による義務的事業 ■ 市の制度による義務的事業 ■ 義務化されている協議会等の負担金	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業			
					<input type="checkbox"/> 構築事業			
施 策	体 系	36	「生きる力」を育む学校教育の推進	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業				
				<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 21 年度） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（～ 年度）			法令根拠	南アルプス自然体験推進事業実施要項			
事務事業の概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載				事業費の主な内訳（25年度 決算見込）			
	本市の児童・生徒に、ふるさとを愛し、豊かな自然を守つていこうという気持ちを育むため、南アルプスの大自然を舞台にした各種自然体験活動を実施する。世界遺産登録を目指す南アルプスの山々のすばらしさを知ると共に豊かな感性を醸成し、仲間を大切にする信頼関係を構築していくことを目指す。		項目(細節)	金額(十円)	項目(細節)	金額(十円)		
	報償費	30						
	消耗品費	79						
	印刷製本費	15						
	使用料	56						
			計	180				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

①活動	
25年度活動実績	芦安小・中学校を指定校とし、郷土愛や豊かな自然を守ろうという心をはぐくむ自然体験活動を行う。
26年度活動予定	芦安小・中学校を指定校とし、郷土愛や豊かな自然を守ろうという心をはぐくむ自然体験活動を行う。
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	推進指定校全教職員及び児童生徒
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	南アルプス市の大自 然を体感することにより、豊かな感性や仲間を大切にする心を育む
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	郷土(南アルプス市)を愛する心を育てる

➡	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
	名 称	単 位
ア	自然体験活動の実施数	回
イ	指定校数	校
ウ		
➡	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
	名 称	単 位
ア	推進指定校教職員数	人
イ	推進指定校児童生徒数	人
ウ		
➡	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
	名 称	単 位
ア	南アルプスの自然体験授業数	時間
イ		
ウ		
➡	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
	名 称	単 位
ア	原童生徒が大自然を体感し、郷土を愛する心を育むことができたと想う教員の割合	%
イ	郷土を愛する心を持つ原童生徒の割合	%

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金 県支出金 地方債 その他	千円 千円 千円 千円						
	一般財源	千円	163	152	180	180	180		
	事業費計 (A)	千円	163	152	180	180	180	0	0
	人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	2 26	2 25	2 25	2 25	2 25	
	人件費計 (B)	千円	118	114	114	114	114	0	0
		(A)+(B)	千円	281	266	294	294	294	0
	活動指標	ア イ ウ	回	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	
	対象指標	ア イ ウ	人	26.0	26.0	19.0	19.0	19.0	
	成果指標	ア イ ウ	時間	120.0	20.0	20.0	20.0	20.0	
上位成果指標	ア イ	%	100.0 80.0	100.0 85.0	100.0 85.0	100.0 85.0	200.0 85.0		

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成19年学校教育法が一部改正され、学校内における自然体験活動を促進が目標とされた。研究指定校をつくり、自然体験活動を通じ郷土愛を育むことを目的に事業が開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	H23からの新学習指導要領の施行に伴い自然体験活動の具体化が求められている。H23年度に自然体験活動の実績が認められ、芦安小・中学校がユネスコスクールへ登録された。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	議会からは、芦安小中学校の自然体験活動を、市内小中学校の事業として拡大することが出来ないかとの意見が出されている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	初期は、南アルプス登山体験事業だったが、現場の実態に合わせ登山に特化せず、自然の中で体験すること広くとらえ「南アルプス自然体験推進事業」と名称を変更した。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	ユネスコスクールにも登録され、登山ばかりでなく自然や文化についても学ぶ機会を増やした。

事務事業名	南アルプス自然体験推進事業	所属部	教育委員会	所属課	南アルプス教育推進課
-------	---------------	-----	-------	-----	------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 自然体験活動は、生涯にわたって、南アルプスの自然やそこに生きる人々に誇りを持ち、地域と共に生きていく南アルプス市民の礎となる
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 南アルプスの自然を活かした体験活動を仕組むための研究は、関係機関との連携も含め、校内研究として取り組んでいく必要がある 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市教育委員会の指定事業である。
	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 事業の内容については、毎年実績評価を行い見直しや成果については検討を重ねていく。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ユネスコスクールへの登録理由の一つに自然体験活動があるため、事業が実施できなくなることは望ましくない。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 ユネスコスクールへの登録したこともあり、休止等は難しい。
	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 ユネスコスクールに登録され、注目が集まっている。その中で教育活動も増えている。登山やキャンプなどには消耗品や外部講師の招聘代、車の借り上げ代等に経費がかかり、現在も実績を踏まえると最低限であるため。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 芦安小・中学校の校内研究推進のための費用であるため、直接人件費とは関係がない。
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 公教育の現場で行う事業であるため。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	芦安小中学校は、これまで継続してきた活動が教育課程に位置づけられており、市が自指す南アルプス世界遺産登録・人間と生物圏登録における側面から市としての活動を支援していくことは有効である。ユネスコスクールにも登録され、その趣旨に沿った活動も行っていく。
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)
<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)
(2) 改革改善案について	※ 廃止・休止の場合は記入不要
指定成果などを、ホームページによって市内外に公表、内容の充実を図る。市内小中学校を対象とした自然体験指導者研修会などを開催し、芦安地区以外の小・中学校でも自然体験の大切さを広めていく。	
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度
芦安小・中学校との連絡・協議の方法の検討、芦安地区以外の小中学校との連絡・協議の方法を検討。	成果優先度評価結果 (5)
	コスト削減優先度評価結果 (9)